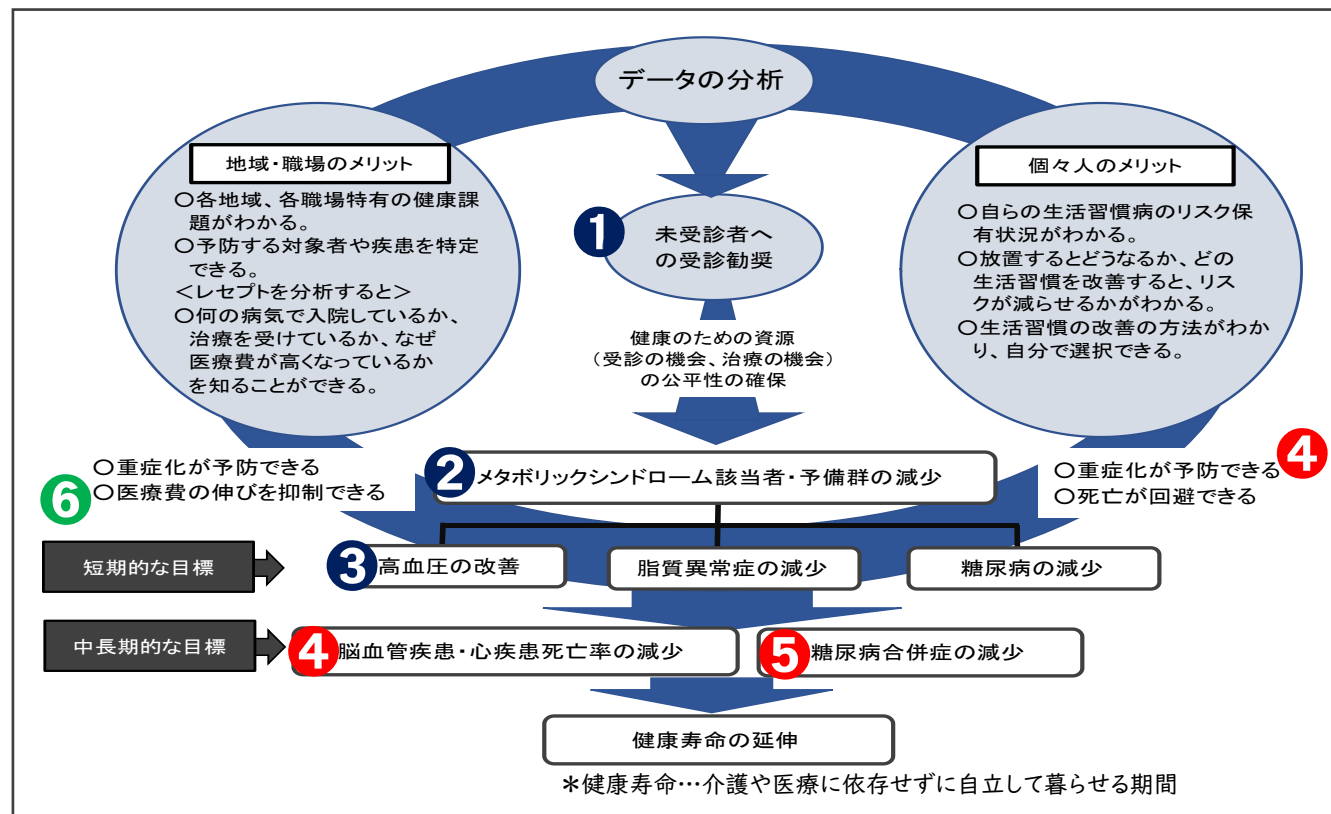


山都町国民健康保険 保健事業

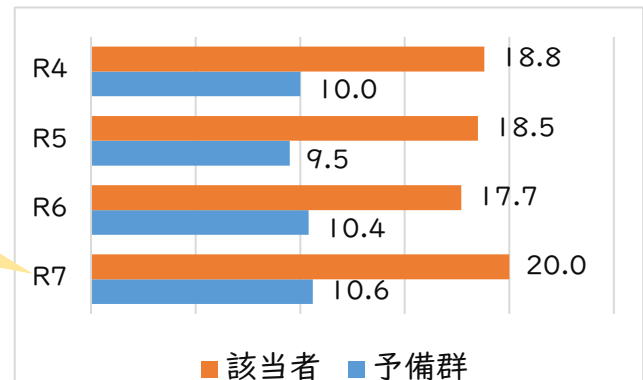
【計画期間：R6～R11年度】第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期特定健康診査等実施計画に基づき実施しています。
R8年度は中間評価の実施年となっています



2 メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少

特定健診受診者への特定保健指導実施（夏健診・秋健診）
健診当日・健診結果説明会・6か月後の面談の実施

R7年度 熊本県
該当者 21.2%
予備群 11.7%



・R7年度はメタボ該当者が微増
・予備群、該当者ともに男性の割合が高い



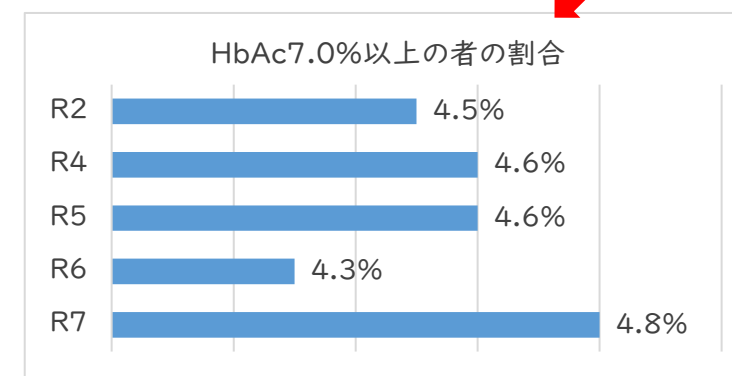
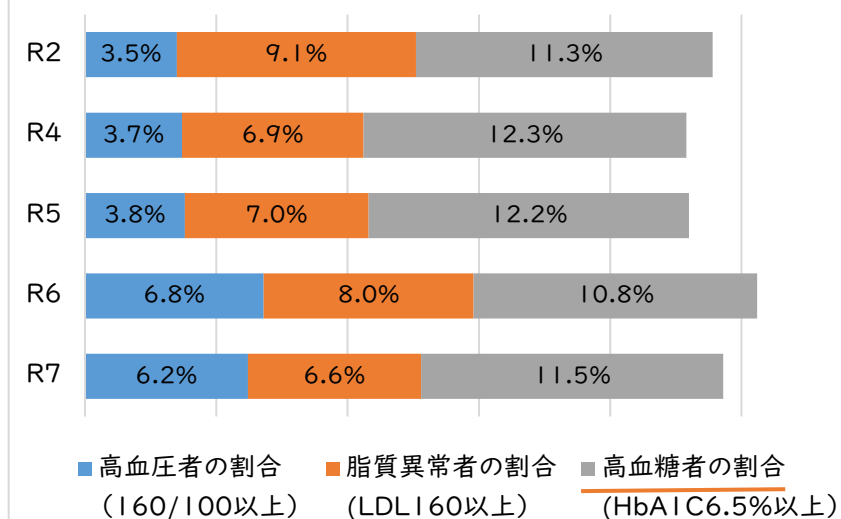
3 高血圧の改善、脂質異常症・糖尿病の減少

短期的な目標

- ① 健診結果説明会の実施
- ② 医療機関への受診連絡票の発行、二次健診の実施
- ③ 説明会后に、保健師・栄養士の訪問による生活状況、受診状況等の確認
- ④ レセプト確認（受診・治療状況）

R7年度保健指導者数

- ① 高血圧 53名
- ② 糖尿病 67名
- ③ 脂質異常症 25名
- ④ (糖尿病性)腎症 21名



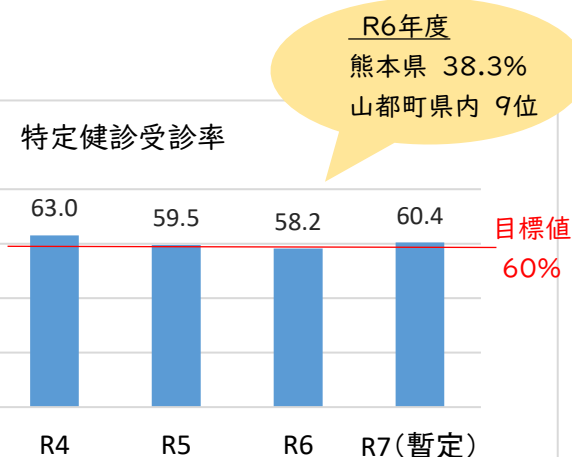
山都町は県下でも高血糖者の割合が高く、総医療費の透析に係る割合が高いことから、糖尿病予防・糖尿病性腎症予防対策を重点課題として取り組んでいる。特に、県が目標（1%以下）としているHbA1c8.0以上の者の割合が1%を超えており、そのうち未治療者の割合は県下で上位（R5は2位）にあるため、HbA1c8.0以上の未治療者を治療につなげることを優先に取り組んだ。

【R7年】
HbA1c8.0以上 18名（1.1%）
うち、未治療者 6名
↓
4名が内服治療開始

1 未受診者への受診勧奨

「特定健診」とは…40歳から74歳までの国保加入者が受ける基本健診。毎年、特定健診の受診率に応じて、国から交付金が加算され、町の国保財政の安定化にもつながるため、町では受診率の向上に努めています。

- ① 訪問・電話による受診勧奨
 - ・継続受診、不定期受診者（過去に受診歴がある方）
 - ・過去の健診の保健指導対象者（高血圧・脂質異常症・糖尿病）で健診未申込者
- ② 受診勧奨ハガキの送付
健診受診歴、医療受診がない方
- ③ みなし健診の実施
医療機関通院中のため健診を受診していない被保険者を対象に、医療機関で実施した検査データを提供してもらうことで受診率にカウントする



★R7年度は、全未申込者にハガキによる受診勧奨を実施<業者委託>1,078通送付

- ・新規受診者（過去5年間1度も受診がない方）
 - ・不定期受診者（R6年度の受診はないが、過去5年間に受診をしたことがある方）の受診が伸びた
 - ・男性の受診率が伸びた
- 【R8年度】
R7年度の受診者を継続受診につなげる

4 脳血管疾患・心疾患死亡率の減少

中長期的な目標

月100万円以上の高額レセプト

★・・毎年健診受診

○ 脳血管疾患 6名

★67歳 女性 1か月間 129万円 ⇒ 要介護5

★69歳 男性 1か月間 154万円 ⇒ 要介護4

69歳 男性 2か月間 259万円 ⇒ 要介護2 発症後、転入

★72歳 男性 1か月間 148万円 ⇒ 要介護3

72歳 男性 1か月間 113万円 ⇒ 要介護5(脳出血)

★73歳 女性 2か月間 215万円 ⇒ 要介護5

○ 虚血性心疾患 2名

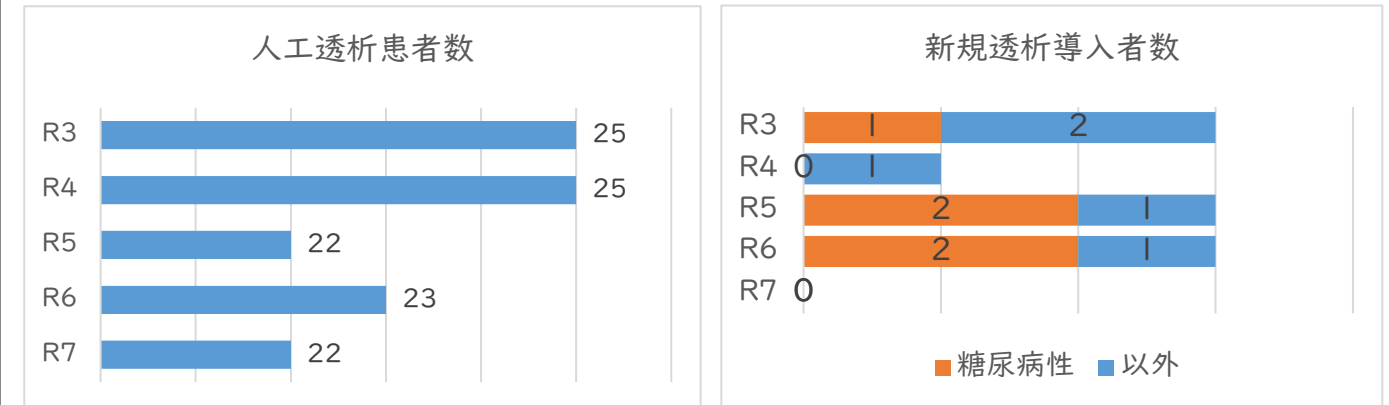
55歳 男性 1か月間 190万円

74歳 男性 1か月間 133万円

・虚血性心疾患が原因での介護保険申請はないが、脳血管疾患による申請は6名中6名であり、介護度も重度
・脳血管疾患は発症の急性期のみならず、リハビリ等による慢性期、退院後の介護費がかかるなど、社会保障費の負担のみならず、本人や家族に長期に渡って負担がかかる

5 糖尿病合併症の減少

中長期的な目標



・R7年度は、新規透析導入者はいなかった
・透析導入となったことで、社会保険等から保険異動されるケースが多く、国保の保健事業単独での予防活動では予防が難しい

6 医療費の伸びを抑制

R4

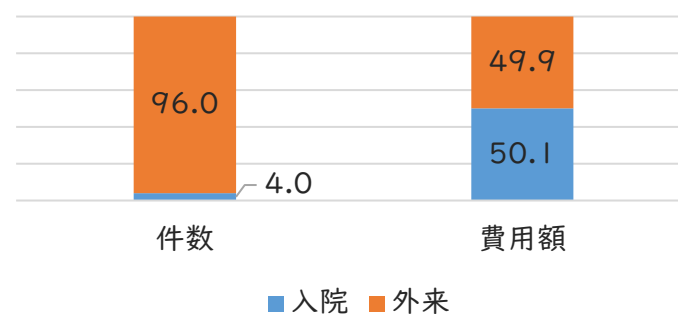
○ …国・県と比較して高い

市町村名	総医療費	一人あたり医療費(月額)			中長期目標疾患				短期目標疾患			(中長期・短期) 目標疾患医療費計		新生物	精神 疾患	筋・ 骨疾患
		金額	順位		腎		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質 異常症					
			同規模	県内	慢性腎不全 (透析有)	慢性腎不全 (透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞								
山都町	1,932,968,660	37,228	11位	8位	5.57%	0.48%	2.08%	0.98%	5.05%	3.31%	1.83%	373,199,990	19.31%	15.79%	9.11%	9.41%
同規模平均	166,665,437,910	30,653	--	--	4.23%	0.33%	2.07%	1.38%	6.02%	3.54%	2.04%	32,667,315,950	19.60%	17.23%	8.13%	8.66%
県	156,342,471,470	33,050	--	--	5.52%	0.26%	1.89%	1.02%	5.62%	3.12%	1.72%	29,942,708,190	19.15%	14.11%	9.62%	8.56%
国	9,337,411,479,190	27,570	--	--	4.26%	0.29%	2.03%	1.45%	5.41%	3.06%	2.10%	1,737,066,709,990	18.60%	16.69%	7.63%	8.68%

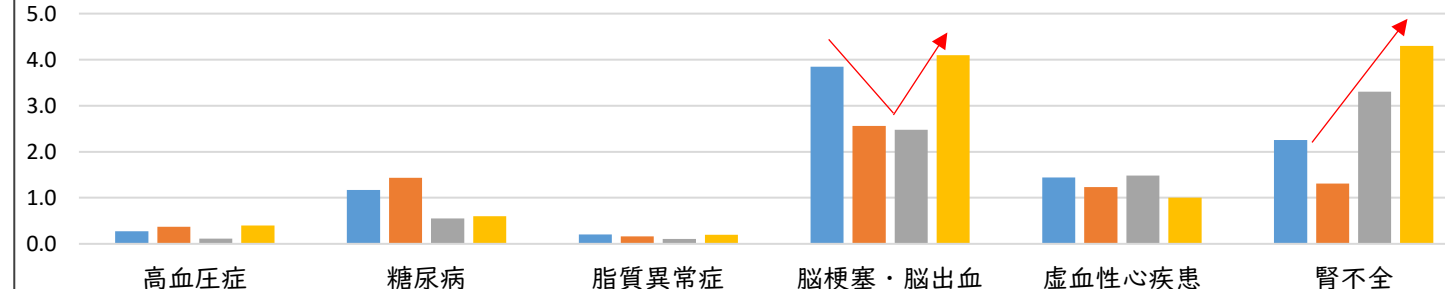
R7

市町村名	総医療費	一人あたり医療費(月額)		中長期目標疾患					短期目標疾患			(中長期・短期) 目標疾患 医療費合計	新生物	精神 疾患	筋・ 骨疾患
		金額	順位		腎		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質 異常症				
			同規模	県内	慢性腎不全 (透析有)	慢性腎不全 (透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞							
山都町	↓ 16億2629万円	36,967	↓ 42位	20位	1億1300万円	254万円	3441万円	930万円	7642万円	5754万円	3194万円	3億2515万円	1億6938万円	1億4783万円	1億9934万円
					6.95%	0.16%	2.12%	0.57%	4.70%	3.54%	1.96%	19.99%	10.42%	9.09%	12.26%
同規模	1745億3240万円	33,542	--	--	4.29%	0.38%	2.02%	1.42%	5.68%	3.03%	1.84%	18.67%	17.25%	8.14%	9.12%
県	1468億6222万円	35,458	--	--	5.46%	0.33%	1.94%	0.91%	5.42%	2.92%	1.59%	18.56%	14.73%	9.26%	8.94%
国	8兆8105億7462万円	29,569	--	--	4.22%	0.35%	2.02%	1.39%	5.08%	2.54%	1.86%	17.47%	16.96%	7.66%	9.04%

入院と外来の件数・費用額の割合の比較



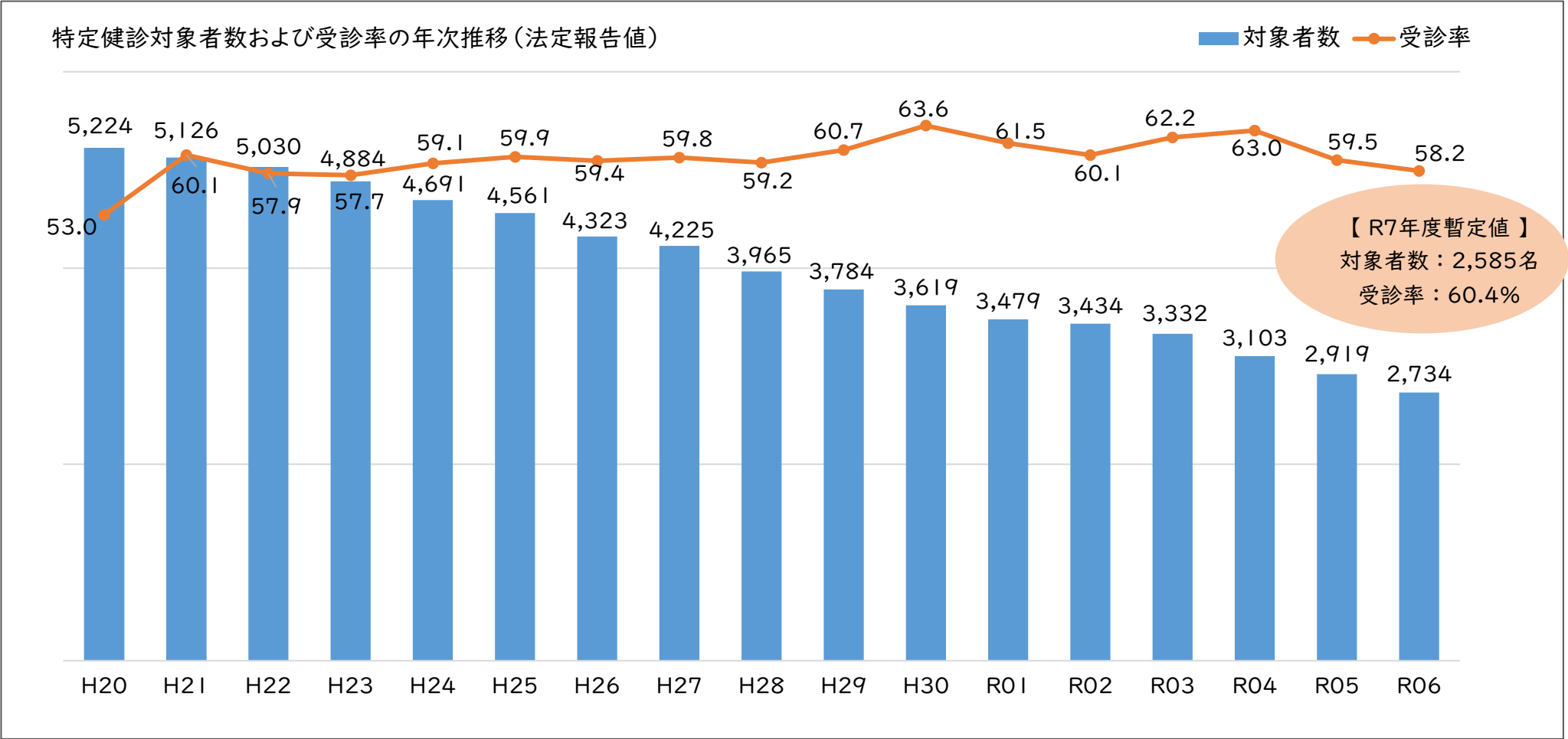
入院医療費に占める割合



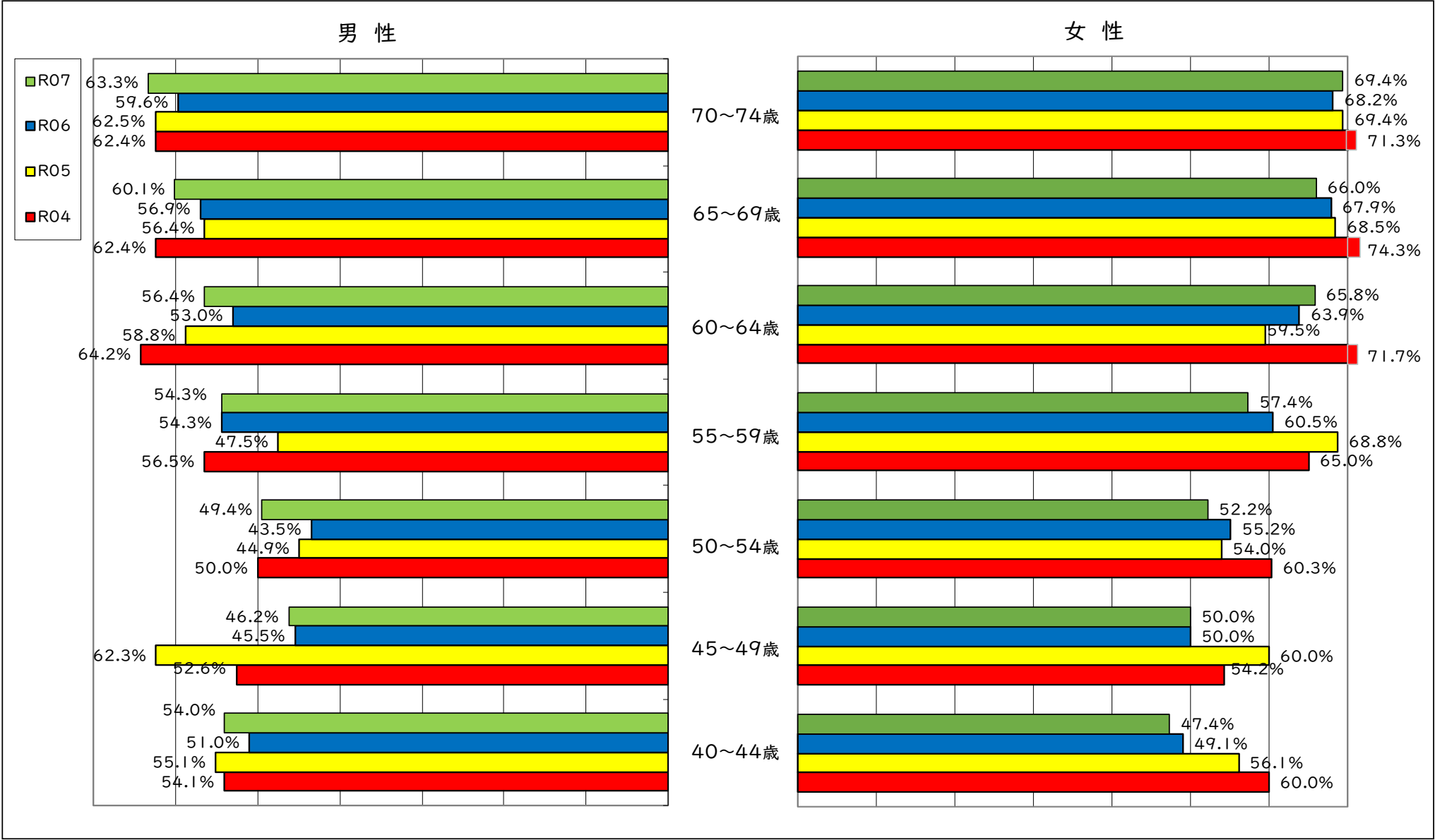
【R4年度とR7年度の比較】

・被保険者数が減っているため総医療費は減っている。また、一人当たり医療費については、県・国が増加をしている中、町は減少している。目標疾患医療費の占める割合は大きくなっている
・入院医療費は、全体のわずか4.0%程度にも関わらず、医療費全体の50.1%を占めている
・総医療費に占める割合は、筋・骨疾患が最も高く、次いで精神疾患の割合が高い
・国保保健事業の対象疾患の中では、慢性腎不全(透析有)が最も高く、次いで脳血管疾患、虚血性心疾患の順となっている。脳血管疾患の割合は減少していたが、R7年度は増加に転じている。また、慢性腎不全の割合は年々増加している

特定健診受診率の推移



年齢別特定健診受診率の推移



- ・H20年より特定健診制度がスタートし、特定健診の対象者はH20年と比較すると半減している
- ・受診率は60%前後で推移。目標値は60%。R7年度の暫定値では目標を達成
- ・R7年度は、男性の受診率が全年代で伸びている
- ・40代～50代前半の受診率が低い
- ・特に40～44歳女性の受診率の低下が顕著